

レポート 東構協

1999年(平成11年)

新春号

[第10号]

発行 東京鉄構工業協同組合
 〒104 東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル6階
 -0032 TEL 03 (5566) 1 5 9 5
 FAX 03 (5566) 1 5 9 7



平成11年賀詞交換会の会場風景① 和やかに懇談するメンバー②、③



なお一層の団結図ろう

理事長 金子 升一

明けましておめでとうございます。

本年の正月は、天候に恵まれて、すばらしい新年を迎えられ、精神的、気分的にも明るい正月休みで、精気を癒すことが出来たことと推察致します。

平成10年は各界とも皆様ご存じの通り、厳しいと言うか大変な激動の1年であり、日本の中に景気の良いところがあるのかと思われるほど、ゼネコン・銀行・商社の倒産が続き、天候も4月以降、毎日曇りがちで、輝く太陽が見られず、精神的にいやな年でありました。

その中で当組合運営は節約モードの中、無事平成11年を迎えられ、

各位に感謝申し上げます。

さて、私共業界はここ何年にもわたり「安値受注をしない」「断る勇気を持つ」「無理な稼働をしない」7割操業に徹する“協調と勇気と決断”をテーマに活動して参りましたが、経済は足踏み状態から一層厳しくなり、仕事量の確保、決算ではトントンなら良い方と考え方が小さくなっているような感じがします。

私達は生活する上でも、この激動の年を切り開くためにも、見積条件の改善、中期経営計画による企業運営等、世の中厳しい時期が勉強の時と考え、今まで以上に前向きに物事をとらえ前進しましょう。

私共は「厳しい」時代を何回も経験している仲間ですから、組合活動を通して情報の共有化を強化したいと考えております。

現在、組合活動を東西南北のブロックに分けておりますが、今後はもう少し細分化して4社5社単位の仲良しグループ的な小ブロックにして、教育、資材の共済事業、公報の組合員徹底等、情報の迅速化を図りたいと考えます。

組合事業と各組合員の受注活動、悩み事などを解決すべく、なお一層団結し、安くて良い製品を作り、鉄骨業界の優等生にならしましょう。

(那須ストラクチャー工業㈱)

副社長)

事業委員会報告

((総務・財務・広報委員会))

委員長 松田 清明 副理事長



兜町の日経平均株価のピークが平成元年(1989年)12月で38,915円、その時のニューヨークダウ株平均が2,800ドル前後でした。その後、日経平均はほぼ一貫して下がり続け、一方ニューヨークダウは反対に上昇し続けております。十年一昔とはいえ、1月11日現在で1/3対3.5倍(日本のピーク時点と比較)とは……。

国力の差がその間にそんなに開いたとは、とても思えない。この原因はいったい何なのだろうか? 私なりに単純に解釈すれば、まあ10年前の日本がバブル絶頂期で、今のアメリカがやはりバブルの真只中なのだろう、と思うだけで、このこと自体はそれほど不思議でも不可解でもなく、スンナリと受け入れることができます。もともと自由主義経済の下では景気の循環はつきもので、不景気もアタリマエのことと考えれば、アキラメもし、ガマンもするが、高度成長とあのバブルは日本人の多くに致命的な悪性のイデンスを植え付け、良性のそれを駆逐してしまったような気がしてならない。むしろその事の方が恐ろしいと思います。

追い出された方は、ケナゲ、ヒカエメ、シツジツゴウケン、ニintai、オモイヤリをはじめ、昔からあったはずの、ジン・ギ・レイ・チ・シン等々。入ってしまった方は、ゴーマン、ムセキニン、タニンフシン、ネタミ、ソネミ、ハイキンシュギ、ムカツク、キレル

等々数えあげたらキリがない。一つには教育現場の責任、一つには親の子育て方針の間違いもあるだろうが、もう一つ一番大きな責任はバブルに浮かれた種々の社会現象にあるのではないのでしょうか。

もしそうならば、この不景気は我々日本人の病気を治す一番良い薬なのかもしれません。

(松田鋼業(株)社長)

((経営対策委員会))

委員長 安井 喜信 副理事長



昨年は経対委の活動に御協力をいただき、有難うございました。大きなテーマであった、「見積・積算統一」という課題が引き続き本年以降も活動の中心となっていくと思われまますので、よろしく御協力の程、御願ひ致します。

本年も、次の5点について活動していきます。

①統一見積・積算については、講習会、地区会で御説明をしていますが、本年は見積物件情報とリンクさせて、内容の充実を図りたいと思います。

また、フロッピー、統一見積用紙の普及も図り、多くの組合員が使用される様に活動していきたいと思ひます。

鉄建協との協調課題でもある、契約条件、支払条件、追加変更の扱いについても、組合として、運動の課題としていきます。

②見積物件情報の活用については、統一見積・積算と同一と考え、積算の省力化、内容の再確認、原価を意識した見積、仲間を意識した

営業活動を基本に、更なる活動を御願ひ致します。

③耐震補強工事の受注については、本年も組合として、物件のターゲットを絞り、協力して受注できる体制作りをし、確実に受注できるように活動していきますので、希望者は、情報の提供を御願ひ致します。

④他県との交流につきましては、今までに千葉、埼玉、神奈川の各県と交流を図り、それなりに成果があったと思ひます。物件情報を軌道に乗せ、活用するためには絶好の機会と思ひますので、本年も時期をみて交流会を実施する予定です。

⑤その他として、Hグレード協議会の活動について、業界の先頭に立って問題解決に進むべく本年度も活動を続けていきますが、全国会議として、4月に九州で「全国Hグレード会議」を開催する予定です。

本年も以上の様なテーマを課し、経対委を進め、いくらかでも組合員各位の御役にたちたいと思ひますので、絶大なる御協力の程、御願ひ致します。

(信和鉄工(株)常務)

((資材共済事業委員会))

委員長 榎本 敏昭 副理事長



一言。

最近の日本経済の冷え込みは、戦後最大と言っても決して過言ではなく、特に建設業会においても然り、その下請けである我々ファ

ブはどんだの経営をここ数年続けている。この様な状態の中、チェックバックの遅れ、質疑事項解答の遅れでどこのファブでも困り果てている。

これはなぜか。最近設計事務所そしてゼネコンのスタッフの機敏さ及び勉強不足も加わり、ほとんど我々は手を焼いているのが実情である。

鉄骨に関しては、我々ファブのスタッフはキャリアは十分、その上勉強し、種々の試験をパスし、資格を取得している。

先日、ある工事の一コマ。

あまりにも解答が遅く、工期にも支障が出そうなのでこちらから解答を示し、提出したところ、返ってきた解答は「それでは駄目」の返事のみで、解答は無し。仕方なく別の解答案を提出し、待つ事2週間。最初に質疑事項を提出してから、何と1ヶ月半です。然も、やっと出された解答は1番最初に提出しました手前どもの解答案でした。

我々ファブリケーターは死にもぐるいで頑張っているのですから、もう少し設計事務所もゼネコンも下請けの身になって協力して頂きたいと切に希望致します。

(株)中島鉄工所社長)

((認定検査事業委員会))

委員長 奥田 隆 副理事長



新年おめでとうございます。

今年の干支では己卯(つちのとう)に当たり、己は起の意で、今まで屈していたものが盛に起り、卯(ぼう)は茂(ぼう)で、万物

茂る由だそうですので、希望を持って挑戦していきたいと思っています。

60年前の己卯は昭和14年で、小学6年生になっていた私は、事件の多かったこの年を鮮明に憶えています。外蒙でソ連軍と激突し大敗したノモンハン事件、8月にドイツは独ソ不可侵条約を調印し、間髪を入れずにポーランドに侵入した。これに対しイギリス、フランスは対独宣戦布告を行い、ロンドンがドイツの爆撃機に空襲されているニュースが毎日ラジオから流れて来た。今思うとやはり、何かが起こる年廻りであったのであろうか。

そんな事を考えていたので、年表を取り出して見ていると、今年(西暦1999年、文字通り百年に一度しか廻ってこない年になるのだが、今年から丁度300年前の17世紀末、1699年が今年と同じ己卯(つちのとう)であることが判明した。年次は元禄12年となり、浅野長矩が江戸城中にて吉良上野介を斬り切腹。改易を命じられた年の2年前に当たる。元禄時代は江戸時代の中でも最も経済が発展した時代と言われていますが、後半10年を過ぎると成長が鈍化して来たのではないかと。12年の年表を見ると、9月諸国暴風雨による凶作のため酒造額を前年の5分の1とする。10月大奥に儉約令を出す、とあります。

奇しくも今年のNHKの大河ドラマは忠臣蔵の“元禄繚乱”である。いかなる視点から筋書が進むのか知らないが、私達が直面している世相に似通った元禄の時代を描き出し、そこで生きた様々の人間模様を浮き彫りにして、感銘を与えてくれることを期待している。干支から元禄まで飛びますが不悪。頑張りましょう。

(叶産業(株)会長)

((技術教育事業委員会))

委員長 池田 英敏 副理事長



1999年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。年末から年始にかけて、待ちに待ったラグビーの試合が数多く放映されました。時にはビデオを見ながら、感動するドラマを楽しんでおります。チームワーク・個人技そのひとつひとつに培われた日々の練習がある。強いチームほど短時間においての練習量で戦闘力を磨く、つまり勝利に向かって全精力、気力を傾注する。試合においては、今までの基本的な練習が100%発揮できるかによって勝利を手中にすることが出来ます。冷静で的確な判断力とスピード・確実な低いタックルつなくパス・少ないミス、どれが欠けても得点に繋がらないものである。このラグビーの試合に限らずスポーツから学ぶ経営戦略は数限りなくあります。

その中に得点を最大限にして、失点を最小限に抑えるという戦略があります。各企業にとって、ビジョンを掲げ、この競争社会の中でいかに最大の能力、経営資源を使いながら、利潤、付加価値を真剣にとらえ、正確な情報をいち早く知ると共に、指令塔としてのリーダーシップを発揮していくことが基盤となります。

経営学者のピーター・ドラッカー曰く「優れた管理者に共通的な特徴は、日々の自己啓発を怠らないことである」。混迷の続く社会から抜け出す為にも、日々の努力・継続が勝利につながるのではないかと思います。

さて、本年度の教育事業としての抱負は、各種講習会の開催と、中期経営計画事例を参考に、各社

の将来のあるべき姿、進むべき方向、取り組むべき経営課題に向けて、一層の理解を深めながら、勉

強会を開催したいと思います。よろしく御協力お願い致します。

(池田鉄工(株)社長)

地区長 年頭のあいさつ

(東地区長の松本氏7ページ)

西



理事 森 明

昨年は年頭の景気回復の年になるとの願いむなしく、さらなる景気後退に憂慮の念を拭えない年で

ありました。本年こそ、景気回復はもとより、建設業界、ひいては当鉄構業界に日差しが戻り、安定した経営が営めることを願ってやみません。いつにない思いにかられて、例年になく、早々に初詣を致しました。参道でダルマを買って帰り、大願成就に目玉を入れることにしました。とは申せ、神頼みだけという訳にもいかず、いかに厳しい中で生き残れるかを、英知と勇気ある実行力で模索してい

かねばなりません。

組合活動もその手段の一助として参加し、情報収集を始めとし、有効に活用をするべきと思います。微力ながら西地区長を仰せつかり、いつも恐縮しております。本年度中に再度、地区会を開催したく、その節はぜひよろしくお願い致します。

地区および組合員各位の御多幸を心よりお祈り申し上げます。

(日本鉄構建設工業(株)社長)

南



理事 辻川 幸四郎

昨年11月亀戸在住の友達と、釜山、慶州、ソウルと3カ所を周遊

しました。韓国パワーを特に感じた事は、釜山の水産市場、ソウルの南大門、東大門、明洞等各市場の賑わい、活気に圧倒されました。慶州の焼肉レストランで食べながら見た韓国舞踊、赤緑黄色等原色が多い衣装をまとい、2つの太鼓でリズムを取り優雅に踊る姿、アリラン峠の民謡などは日本の演歌の原点ではないかと思いました。ソウルでの印象は青瓦台にある

大統領官邸です。韓国陸軍の兵士によって物々しく警備され、北朝鮮を意識した臨戦態勢の一部がうかがわれます。

慶州からソウルまで乗った特急セマウル号は、スピードは速くありませんが、ゆったりとした座席、汽車弁のうまかった事等、3泊4日の旅でしたが、楽しい思い出が残っております。

(株)辻川鉄工所会長)

北



理事 木崎 康允

“今年こそ正念場の年”と言われ続けて何年目になるのでしょうか。この間、耐え続けてこられた皆様方の経営ご努力、ご手腕に深く敬意を表する次第です。

さて当地区活動の経過、状況としては実施回数が少なかったことから、残念でございますが、地区組合員の皆様とのコミュニケーション不足によって、お伝え出来る内容に乏しく、地区長として申し訳なく思っています。

地区活動とは異なりますが、昨年、組合の重点事業でもありました耐震補強工事の受注促進について、担当地区を中心に本年度も引き続き情報収集に努力したいと思っています。

今年の各都道府県鉄構組合理事

長の年頭挨拶(鉄構造ジャーナル1/11付)を読みますと、重要目標として組合の「共同受注事業推進」および「連帯・協調」をテーマとした組合が16組合ありました。協調からくる人と人との交流によって知識・情報の選択ができることから、人材の育成にも繋がることかと思えます。金子理事長は「人材の育成」を強調されています。

本年度も工場巡回等が行われる予定ですが、皆様のご理解、ご協力をお願いします。(株)コバ建常務)

審査委員長 年頭所感



今年も経済危機という、かつてない時期の中、新年を迎えました。

我が鉄骨業界も、昨年は経済の国際化に伴う産業の空洞化と価格破壊、さらに長引く景気の低迷の影響を受けて、企業を取り巻く経営環境は厳しい状況にありました。

今年も現実には、私たちの必死の努力にもかかわらず、依然として状況は混迷しており、起伏に富んだ多難な年になりそうです。

工場認定の審査は第9次2回目ということで、昨年の基準、規定の大改定の反省から、各審査対象の工場も自発的に継続して認定ランクを維持できるよう最善の努力をされており、すべて完全とは言えないまでも、おおむね目的を達

成することができました。

審査の状況は、東京の場合、他県との乗り入れ審査が約60%ほどあり、それぞれの県審査と、ランク範囲に少々バランスを異にするところもありました。しかしながら、当審査委員の方々には、最良の合意が得られる努力をされて、大過なく審査が終了することができました。

各委員をはじめ、事務局、そして組合員の方々に厚くお礼申し上げます。

ひるがえって、現実には目を転じる時、現状の危機的な経済状態を打開するために、国は様々な施策を行い努力しているにもかかわらず、一向に改善されないままというのが実情です。社会も建設業界も成熟した今、プロフェッショナルなサービスが求められています。あまり、営利を優先せず、高度な経営理念で、技術の向上、品質管理などに高い理念、目標を持って取り組む姿勢が必要な時代を迎えたようです。

照沼 弘 委員長

この時こそ大事にしたいと思います。現在の組織の機能をフル活動させることはもちろんですが、他の団体（組織）についても、どのような活動をしているか、多くの情報交換や収集を行い、お互いに協力し合い、新たに興味や関心を持ち、活動の輪を広げていくことが肝要かと考えます。

「現在は過去を解く鍵である」という主張を「過去は未来を解く鍵、混迷にあつては歴史に学ぶ」と言い換える知恵は、一面の真理が内在しているのではないのでしょうか。今一度、原点に戻って考えて見る必要があるかと思えます。

見上げれば冬の夜空、南に高くオリオンが確かな位置を占め、遙かな遠い過去からの光を無心に投じながら「時の悠久」を今に伝える。この星に「今年こそは」と強い語気を含めて希望を記したい。

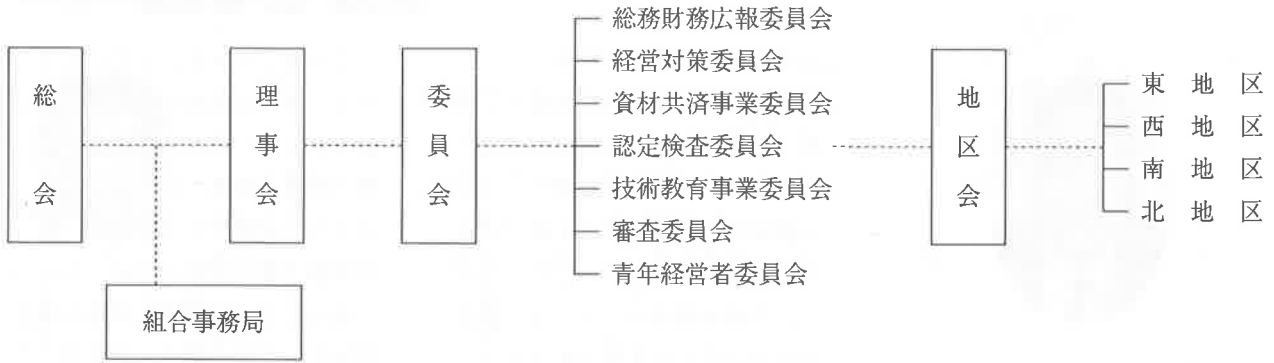
どうぞ良い年でありますように、お祈りいたします。

(株)久米設計・監理部・副理事・部長

東京鉄構工業協同組合 審査委員

委員長	照 沼 弘	(株)久米設計・監理部・副理事・部長
副委員長	内 田 三 雄	(株)日建設計・東京本社・監理部 技術長
副委員長	田 極 義 明	(東京都都市計画局・多摩西部建築指導事務所・専門副参事)
副委員長	吉 澤 昌 芳	(株)石本建築事務所・第4設計統括室 設計監理1部長
委 員	半 貫 敏 夫	(日本大学・理工学部建築学科 教授)
委 員	田 中 欣 章	(株)松田平田 建築・技術設計室 構造設計部 担当部長
委 員	津 山 巖	(株)日建設計・東京本社・構造部 技術長
委 員	大 塚 誠	(株)久米設計・構造設計部 副部長
委 員	中 本 浩 二	(株)日本設計・関西支社・支社次長

東京鉄構工業協同組合・組織図



●役職者名簿

理事長	金子 升一	理事	小橋 一男	理事	斉藤 敏雄
副理事長	奥田 隆	理事	木崎 康允	理事	川原 征二
副理事長	榎本 敏昭	理事	吉岡 克昌	理事	鈴木 能光
副理事長	松田 清明	理事	斉藤 清吉	理事	城所 勇
副理事長	池田 英敏	理事	落合 一雄	理事	杉本 豊
副理事長	安井 喜信	理事	松本 英井千	監事	前田 昭男
理事	辻川 幸四郎	理事	森 明	監事	佐々木 義弘
理事	福地 實	理事	涌田 好司		

●委員会

◇総務財務広報委員会	委員長 松田	委員 小橋	委員 落合	委員 木崎			
◇経営対策委員会	安井	福地	松本	鈴木	川原	吉岡	
◇資材共済事業委員会	榎本	辻川	落合	森	斉藤(清)		
◇認定検査事業委員会	奥田	涌田	城所				
◇技術教育事業委員会	池田(英)	松本	森	辻川	鈴木	斉藤(敏)	杉本
◇審査委員会	照沼	内田	田極	吉澤	半貫	田中	津山 大塚 中本
◇青年経営者委員会	担当理事 斉藤(敏)	幹事長 吉岡(晋)	副幹事長 斉藤(敏)	〃 杉本	〃 安原	〃 黒沼	幹事長補佐

●地区会

◇東地区	地区長 松本(英) (松本(和))	副地区長 金子(古藤)	委員 奥田(宮内)	委員 川原(西島)	委員 吉岡(吉岡(晋))	委員 落合	
◇西地区	森(新関)	松田(代田)	池田(英)(平野)	福地(林)	涌田(好)(涌田(陽))	斉藤(敏)	杉本 佐々木
◇南地区	辻川(辻川(高))	安井(青野)	榎本(酒寄)	小橋	前田		
◇北地区	木崎(鈴木)	鈴木(沼田)	斉藤(清)	城所			

※上記下段 () は技術担当者

続・バイクの話

理事長(東地区長) 松本英井千



新年あけましておめでとうございます。今年も昨年同様よろしくお願ひ致します。

年頭のご挨拶のたびに今年こそは良い年になってほしいと何度も願ってきましたが、どうやら今年是最悪の年になることが確実ということが大方の見るところのようです。つまり、今年を乗り越えれ

ば良い方向に向かうだろうということにもなります。新しい内閣に期待しながら、当分頑張っていこうと思います。

さて、当りレポートに当たり、松田副理事長より、あなたは趣味のバイクの話を書いてくれ、ということでしたので少し書いてみます。

第8号で触れた英国製ペロセット・スラックストン、一番気に入っているのですが、最近キックペダルのシャフト部分のガタからオイル漏れがひどくなり、新品を取り寄せた。新しい部品はなんと、この部分にオイルシールが仕込ま

れてあり、30年近く前に消滅したメーカーの車の部品をいまだ改良する英国人に感激すると同時に、なぜなのか考えてしまいました。

とても商売になるほど数(世界中で1,000台くらいは動いているかもしれないが)は売れないはずだし、まあ趣味の世界だから部品を作る人もその気でやっているのだろうと思うことにしました。当分、部品がないと言うような心配はなさそうな古いものを大事にしたい人にとっては、明るい世界の話でした。

次の機会があれば、また続きの話をご紹介しますと思います。

(松本工業(株)社長)

新年賀詞交歓会スナップ (於：ホテル海洋)



金子理事長



会場風景



鉄工建の中村会長も



談笑する来賓



親子で



照沼審査委員長

雑感

理事(R部会会長) 城所 勇



昨年11月より12月にかけて、色々なアクセシブが重なり、新年になっても気持ちが切り替えられないのが現状である。この様な時には、小規模ながらも、経営者は心に余裕が無くなるものだ。そこへリポート東構協の投稿を依頼され、いざとなれば難しいもので、テーマを絞り切れない。でも何かと考え、映画タイタニックを観て、私なりに評価すると共に、我々の業界と結びつける事にした。歴史に残るべく興行的に大成功した映画を観ると、そのスケール、内容、映画制作技術はじめ目を見張るものがあり、その中に浮かび上がる様々な人間像、そしてその心理が如実に表現され、非常に感動させられる連続であった。

一介の無名の絵描きと、滅亡しつつある名門家を引きずっているお嬢さんとが、ふとした出会いでロマンスに陥り、その両者が主人公として場面は展開していくが、史実に残っている当時のタイタニックの豪華さと海に沈んでいく最期になる姿を舞台にして、清く深く恋する2人と上流社会の人々の見栄と虚勢を折り混ぜながら、時は過ぎていく。その中に、成金と思われる他の貴婦人とマッチしない夫人がいたが、最後になって、その人が一番人類愛を持ち合わせている事を訴える場面は、観る人を感動させたと思う。

場面はクライマックスになり、タイタニックが沈没するシーンは大スペクタクルであり、そして生死の場面に遭遇した乗客の心理状態を映し出し、私がおその場面においた場合はいかような態度を取るか皆目わからない。船が船首を上に向け沈み行く時、船首から乗客が落ちて行く様は誠に圧巻であったが、その場面をコンピュータグラ

フィックを使って映し出した事を知り、映画制作は過去に比べ比較しようのないほど、その技術が進歩したことを痛切に感じる。

この大ヒットした映画を制作するには、監督をはじめ脚本作家、出演者、撮影者、テーマミュージック作曲家等々担当部門のスタッフによる集大成の結果と思う。

我々の業界を考えると、ゼネコンを中心にして、多数の協力業者のチームワークによって一つの建造物が出来る。仕上がったビルを見ると、我々の施工した鉄骨は隠れて見えない場面が多いが、建物は映画と異なり、一過性のものでなく建築主の固定資産になり、建物の重要な部分であり、少なくとも耐久年数に充当する責任があることは周知の事実である。

過去に比べ格段の技術力を有したと思われるが、昨今の一山くいらの世界は残念。平成11年は受注単価の回復を祈念する次第である。

(有城所鉄建工業社長)

心で画く絵

理事 森 明

数年前、私の所属するあるクラブの会報に、月下美人が咲いたので、今宵一献傾けませんか、とさそわれて、喜んで友を訪ねたくだりを、月下美人を画いた絵を添えた寄稿に、大変共鳴した覚えがあります。

絵は心で画く、と私は思っている。物理的に忙しく、手が廻らない時、暇そうになったら画けるのかというと、そうでもない。絵を画く心境、喜び、悲しみ、感嘆をもって、その心境となった時、私は絵を画いている。昨今は近年に

なく多くの絵を画く心境に見舞われました。

お恥ずかしくも、2枚の絵は年末から新年にかけて、5枚画いたうちのものですが、苦渋に涙した年末には「落日の海」、明るいスイトピーの花は新年に画いたものです。自身の心を如実に現していると思われま。



落日の海



スイトピーの花

青年経営者委員会 活動報告

齊藤 敏雄 担当理事



旧年中は青年経営者委員会にご支援、ご協力ありがとうございました。昨年4月より全構連青連協関東ブロック運営委員会委員長に選任され、また北海道で開催された青連協第7回の通常総会において副会長も兼務することになりました。青年経営者委員会の仲間の協力を頂きまして、無事に8ヶ月間務めさせて頂きました。青連協第7回総会で6つの分科会に分かれて意見交換をさせて頂きました。第2分科会「コストダウンについて」に出席させて頂きまして、西地区の中央製作所様の中2階倉庫を改増して溶接ロボットを設置されている「狭いスペースの有効活用と溶接ロボットによるコストダウン対策事例」の紹介をさせて頂きました。また「首都圏の鉄工所は地価が高いため、敷地が狭い工場が多いのですが、各社共、様々なコストダ

ウン対策を実施しています。しかし、建築工事は横ばいか徐々に減少すると予想されます。製作加工能力との需要ギャップは当分の間、解決しないと考えられます。工事受注金額を改善するのは、需給バランスが取れるようにならないとダメだと考えられます。各企業が生産設備計画の見直しに取り組み、共同生産、協業化に積極的に経営転換しないと生き残れない」と分科会で発言させて頂きました。

7月に東京・山梨合同研修会を山梨県鉄構会館にて「ノンスラップ工法の標準化と施工方法」の内容で実施致しました。吉岡幹事長以下9名が参加して勉強しました。山梨県青年部の皆様と夜遅くまで技術・経営問題等について意見交換を行い、翌日はゴルフプレーを通して親睦を図り、信頼のネットワークができたと考えます。本年も各県青年部との合同勉強会・見学会・親睦会を企画致します。

5年後・10年後の各企業のリーダーになる皆様の積極的な参加をお願い申し上げます。

11月には栃木県宇都宮市にて「中期経営計画のたてかた」の勉強会を関東ブロック、1都9件の青年部員60名が集まり、池田副理事長に講師をして頂き、各県青年部で事例の紹介と質問等を2時間熱心に勉強致しました。各企業が中期経営計画を作成する事によって、自社の良い点、弱い点が良くわかります。また、自社の置かれている状況が非常に厳しい事が再確認できます。この機会に是非、中期経営計画を作成してくださいようお願い申し上げます。

青連協・関東ブロック運営委員会、青年経営者委員会は、正しい情報の収集のしかた、親睦を図り、ネットワークの構築、経営計画の作成等、会員企業の皆様の後継者である青年達自身で勉強してまいります。

どうぞ本年も絶大なるご支援、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。

(齊藤鉄工(株)社長)

((21世紀に向けて 吉岡 晋吾幹事長))



昨年に引き続き厳しい中での新年を迎え、我々青年経営者委員会としては、この状況下でこそ、お互いの団結力を強め、前向きに進まなければならないと思っています。我々が受け継いできたものをさらに次世代にスムーズに橋渡ししていくことが大切です。そのためには、各社それぞれが個々のノウハウを出し合い、協議し、最終的には、お客様に喜ばれる良い製品

を適正納期、適正価格で作ることが最大の目的であると思えます。

こういう時期だからこそ、デスクワークにおいては、勉強会を行う事で知識を高め、工場製作においては、中間検査を確実に行う事

によってダメ直しのない鉄骨を製作することが出来れば、それが品質保証に繋がり、適正価格での受注ができるものだと思っています。

とにかく「若さとガッツ」で一歩一歩確実に前進して行ける様に努力していきましょう。

(吉岡工業(株)専務)



青連協関東ブロック研修会



齊藤氏が活躍する青連協役員会

東京都勤労青年

洋上セミナー

体験レポート



谷村 忠行

先頃、洋上セミナーという貴重な体験を得ることができました。初めて訪問した中国の印象を以下述べます。

- ①人より車が優先であることにまず驚いた。何しろクラクションが頻繁に鳴っていた。人口12億2,389万人に対して、車の所有率は1%に過ぎない現状で、先行きを考えると、温暖化など地球環境に及ぼす影響が心配される。
- ②建物が大変多く建設されていた。とくに上海では「上海スピード」と呼ばれるくらい高成長している印象があった。
- ③建設現場の安全面では、足台は竹、単管パイプが主流。あご紐を締めずにヘルメットを被ったのは残念であった。
- ④道も空き地も全般にともかく広い。万里の長城は唯一、月から確認できる建造物と言われるが、スケールの大きさに

は驚かされた。

- ⑤中国の青年、中国の企業との交流の場では、同国の国家政策に関する話題はタブーとなっていた。青年達と交流が深まるにつれ、本音の話をいくつか聞くことができた。一人っ子政策を続ける中国では、2人以上産むと罰金50万円。平均月収が2~3万の一般人にとっては、大きな問題かなと感じた。

- ⑥期待した中国料理は、私の口には合わなかった。とくにラーメン。日本のものは台湾風なので、本場の強烈な味と臭いには戸惑った。

セミナー「中小企業の講座」を通して、日本の首都である、東京の位置を最大限に利用し、独自の技術を確保するとともに、俊敏な組織作りを行うことを学び、これらを実践していく決意を新たにしました。バブル崩壊後、多くの企業が業績を大きく落としているが、98年6月に発刊された東京都中小企業



万里の長城にて

白書の製造編によると、売上がダウンしていない企業は平均年齢30歳未満の若い企業というのが特徴で、多くの企業との取引関係があって、しかもその業界におけるリーダー的存在である。

企業経営には「ヒト、モノ、カネ」が不可欠の要素。そしてもうひとつ、業界をはじめ幅広い交流関係を持つことも非常に大事なことであるということを知り、中国の旅を通して痛感した。

最後に、13日もの間、この研修に参加させていただいた職場の皆様へ感謝致します。

(株)谷村製作所

松田 浩子

私が参加したセミナーの目的は、東京都内に勤務する20~30歳の青年が団員で、洋上における研修と規律ある団体生活を通して団員同士の相互理解、訪問国である中華人民共和国の勤労青年と交流や文化・産業施設の視察を通して互いに理解しあって日中の友好と親善に努め、この貴重な体験を企業や地域社会の中で活かす、というも

のである。

最初に団員278名が初めて顔を合わせるの、洋上セミナーの2カ月前に行われる事前研修Iである。価値観もさまざまな異業種の人との共同生活への不安と緊張、そして期待が入り交じった気持ちで望んだ。その後、事前研修II、結団式と何度も集合する機会があり、班別討議やクラブ・係別会議、中国語会話、さまざまな講義、制服採寸など刻み込みの予定をこなし

ていった。事前研修を通して、周りの団員たちとも徐々に慣れ、準備や心構えが形になってきたと思う。

遂に洋上セミナー第1日目の朝がやってきた。台風10号接近中、晴海埠頭に着くと、団員の様子は悪天候の中の出港に対する不安で一色という感じである。団員の同僚や家族、友人と大勢の見送りの方々に見守られての出航。汽笛の音が今でも聞こえて来る。学生時

代を振り返り、当時は気づかなかった「集団で一つのものを築き上げる素晴らしさ」を社会に出てから実感した。この研修が終了した時の結果は自分次第で如何様にも変わってくるのだから、洋上セミナーの目的、意義を再認識し、与えられたチャンスを逃すことなく一生懸命頑張ろうと決心した。

1日目は台風の影響でひどく揺れ（遊園地のフライングカーベットに乗っているような感じ、深夜非常ベルが鳴り救命胴衣を身につけ待機していた人もいた）気分が悪くなったが、船酔いはその後余りなく、快適に過ごす事ができた。デッキに上がり、瀬戸大橋や淡路島、朝鮮半島などが見えたり、夜の星空はとても美しかった。

いよいよ中国上陸。天津、北京、上海を訪問した。訪問先の北京市内の第一機床工場は中国でもトップクラスの技術水準を持った企業で、大型工作機械等の製造を行い、



仲間と記念スナップ（中央）

敷地面積71万平方メートルという広大さ。コンピュータ制御された倉庫、厚生施設の充実など想像以上に進んだ設備に驚かされた。見学の後、工場に勤務する中国青年との交流があり、講義で習ったばかりの中国語と筆談で少し意思の疎通を図ることができた。日本とは形は違うが、この国にも就職難や労働問題がある事も講義で学んだ。天安門広場、万里の長城、故宮どれも壮大で、中国の長い歴史と文化を肌で感じる事ができた。一方で市内中心部は躍動感あふれる現在、組合の幹部役員として活躍されておられる方々をはじめ長く組合員として事業活動に貢献されておられる人の中には、組合設立当時にその立ち上げに懸命な努力をされた方の子弟——二世経営者も多数おられる。顔の表情や発言、しぐさなどを見ていると「血は争えない」と、つくづく感じるとともに、心強く思えてならない。

設立当時は東京と千葉県が一体となった組合員の構成だったが、『東京鉄構工業会』の組織とその役員が同年7月創立の『全国鉄構工業連合会』の設立推進役となったわけである。7月2日、帝国ホテルで開催された創立総会後のパーティーでのスナップ写真をみると、22人の顔触れのうち、当時の東京鉄構工業会の役員が15名写っている。すでに故人となった方も

る近代都市であり、両者が共存した不思議な空間であった。

団員代表として北京市表敬訪問に参加した。北京市の市長は想像とは違い、以前からの知人、あるいは親戚に接するような優しい雰囲気のある方という印象を受けた。隣接した国でありながら、現在の国民生活があまり伝わってこない中国。勤労青年との交流においても感じた事だが、彼らは我々を心から歓迎し、日本に興味を持ってきている。これまで私は偏見を持っていたのかもしれない。中国人の積極性、知識欲といったものには驚かされた。

1分1分が充実していた13日間、この貴重な体験を今後の人生に活かしていきたい。今日の厳しい経済状態の中にも受け身ではなく、積極的に何事にも取り組んでいきたいと改めて思う。このような機会を与えてくださった東構協の皆様深く感謝します。（松田鋼業(株) 数名おられるが、「自分たちの事業組合」——しかも全国組織を5,000社近い規模で立ち上げた喜びと充実感が写っている一人ひとりの顔からうかがえる。

今、ファブリケーター業界は、25年前と似た厳しい経営環境に立たされている。「経営の安定」が組合組織確立の最大の目的であり、これは永遠のテーマとなるが、創業経営者と、すでに次代を担い活躍されておられる若手経営者の顔の両方を頭に描いて、この一文を記していると、企業経営の難しさと同時に、経営者のたくましさを感じている。

創業者の知恵とご苦勞の成果が次世代へと脈々と受け継がれ、また、組合活動の面でも同様に伝承されていくことを期待したい。

(株)鋼構造出版代表取締役)

寄稿

26年の歳月の重み

田中 正幸

「ファブリケーター経営者の世界も世代交代が確実に進んでいるなァ」——1月8日に開催された東京鉄構工業協同組合の新年賀詞交歓会に出席させて頂いて、改めてこのような思いを強くした。

昭和48年3月、当組合の前身である『東京鉄構工業会』の創立総会が行われた。当時、私は勤務していた鉄鋼専門紙の取材記者の立場で総会に立ち会った。以来、取材ばかりでなく、個人的に本当に親しくお付き合いを頂いたひとも多かった。

あれから26年の歳月が流れた。

賛助会員一覧

会社名	本社・所在地	代表者	役職名	T E L	F A X	取扱主商品
大日本塗料(株)	東京都大田区蒲田5-13-23 蒲田シティビル	鳥釜 護次 釜田 喜正	課長 長	03-5710-4501	03-5710-4520	塗料全般
大同生命保険相互会社	東京都中央区日本橋2-7-9 住友日本橋ビル	阿部 俊昭	首都圏地区 営業本部 営業推進部長	03-3241-4311	03-3278-9676	生命保険
	東京都中央区日本橋2-7-9 住友日本橋ビル	元上 佳宏	担当課長	03-3241-4343	03-3274-5924	
エヌケーケー トレーディング(株)	東京都中央区日本橋久松町4-4 糸重ビル6F	斉藤 栄二	建築建材・ 厚圧営業室	03-3660-1511	03-3660-1528	鋼材全般、エクセルビーム
	東京都中央区日本橋久松町4-4 糸重ビル6F	秋元 秀介	建築建材・ 厚圧営業室	03-3660-1511	03-3660-1528	
野水鉄興(株)	東京都千代田区神田西福田町3	野水 清志	代表取締役	03-3256-0271	03-3256-0265	一般鋼材・非鉄化成品
本多酸素(株)	東京都江戸川区北小岩2-33-19	本多 達磨	代表取締役	03-3658-2121	03-3658-3660	高圧ガス、溶接材料
	埼玉県八潮市大字木曾根字下1218-1	丸橋 進	営業担当	0489-95-9151	0489-97-4073	
(株)東京ネジ製作所	東京都葛飾区西新小岩5-3-18	岡部 純	代表取締役	03-3696-6661	03-3696-6664	ハイテンションボルト、ベースバック、NCベ ース、アンカーボルト、プレース、金物製作
	東京都葛飾区西新小岩5-3-18	西野 秀行	営業部課長	03-3696-6661	03-3696-6664	
(株)茗和検査	千葉県八千代市上高野1082	斉藤 進	営業部長	0474-85-8990	0474-85-2331	非破壊検査
愛知産業(株)	東京都品川区北品川5-3-20	井上 裕之	取締役社長	03-3447-0201	03-3449-2143	各種溶接機器、溶接用ワイヤ ー他、溶接関連機器他
	東京都品川区北品川5-3-20	原田 滋	営業第一部課長	03-3447-0201	03-3449-2149	
協和溶材(株)	東京都港区東麻布2-21-4	森田 義一	代表取締役	03-3505-8661	03-3505-8664	溶接材料、工具、鉄骨加工機械、産 業機器、検査器具、各種高圧ガス
	東京都港区東麻布2-21-4	入江 研二	営業担当	03-3505-7238	03-3505-8664	
(株)ドットウエル ビー・エム・エス	東京都中央区銀座1-14-9銀座スワロービル	佐々木 秀吉	代表取締役社長	03-3523-7238	03-3523-7413	S/Fシリーズ(鉄骨CAD、鉄骨積 算システム)及び事務器全般
	東京都渋谷区渋谷1-22-10T.Bミヤタビル	山田 貴志	副社長	03-3523-7238	03-3523-7413	
松下電器産業(株) 東部FA営業所	東京都港区芝大門1-1-30	服部 義和	営業所長	03-3438-5067	03-3459-5437	溶接装置、機器、各種ロボット
	東京都港区芝大門1-1-30	井手 和人	課長	03-3438-5067	03-3459-5437	
石原薬品(株)東京支店	兵庫県神戸市兵庫区西柳原町5-26	竹森 莞爾	代表取締役	078-681-4801	078-651-6784	スパッター付着防止剤(ユニ コン・ノン・スパッター)
	東京都北区田端新町3-16-4	富永 克英	第4営業部主幹	03-3810-1621	03-3810-1620	
グイニッカ(株)東京支店	東京都中央区八丁堀1-9-5	横地 将男	代表取締役	03-3552-3151	03-3552-3162	全構連指定塗料他、塗料全 般及び化学品関連工事
	東京都中央区八丁堀1-9-5	菅沼 進	部長	03-3552-3163	03-3552-3162	
アメリカンファミリー生命保 険会社特別代理店(株)丹治	東京都千代田区美土代町7神田第2中央ビル	鳥畑 昇	支社長	03-3219-7171	03-3219-7180	がん保険、介護年金保険、 医療保険
	埼玉県春日部市藤塚2171-389	丹治 真喜子	代表取締役社長	048-735-7690	048-735-9740	
富士見興業(株)	東京都杉並区高円寺南1-27-11	名取 孝人	代表取締役	03-3314-5712	03-3314-5818	溶接材料、工具、鉄骨加工省力機械、産 業機械、産業設備機械、各種高圧ガス
	東京都杉並区高円寺南1-27-11	大竹 重信	常務取締役営業本部長	03-3314-1430	03-3314-5818	
AIU保険会社青林保険事務所	東京都台東区上野3-18-7東京建物ビル3F	金子 直行	代表者	03-3839-7216	03-3835-9283	損害保険商品
(株)正栄商会	東京都江東区亀戸6-55-20	岡田 勝	代表取締役	03-3682-7821	03-3685-6422	皮手袋、ガウジング棒、フラッ クスタブ、溶接面及びガラス
	東京都江東区亀戸6-55-20	角谷 利雄	営業担当	03-3682-7821	03-3685-6422	

(事務局からのお知らせ)

総会日程決まる

第13回通常総会(予告)

日時 平成11年5月19日(水) 場所 鉄鋼会館 予定 総会 午後3時~5時 701号室 懇親会 午後5時~7時 704号室

※平成10年度 組合員異動(平成11年1月31日現在)

(入会)

株式会社コイワ
富士工業株式会社
東洋鋼機株式会社

(退会)

三平建設鉄工株式会社
東邦興産株式会社
長浜企画建設株式会社

有限会社蜂須賀工業所
株式会社協栄構業
株式会社正木鉄工所
トピーグリーン株式会社

編集後記

リポート東構協も今回第10回の節目を迎えました。本号では、従来の形式にとらわれることなく、フリートークで組合員に広くご投稿をお願いしました。理事長、副

理事長、各事業委員会、部会代表の皆様には引き続き寄稿をいただき、ありがとうございました。

今年は「組合が何かしてくれる」のではなく「組合員の皆さん

が自ら、まず何をやるか」を待たなしに問われている気がしています。次号のメッセージが明るい、力強いものであることを期待しております。(Y・K)